

資料 1

デジタル田園都市国家構想交付金に係る事業の効果検証について



門 真 市

Kadoma City

デジタル田園都市国家構想交付金

▶ デジタル田園都市国家構想交付金とは

- デジタル田園都市国家構想の実現による地方の社会課題解決・魅力向上の取組を加速化・深化する観点から、内閣府が令和4年度に措置した交付金。
- 他の地域等で既に確立されている優良モデル等を活用したデジタル実装の取組、地方への新たなひとの流れを創出する取組等に活用できる。
- 門真市では、令和5年度から産業分野でデジタル田園都市国家構想交付金を活用し、下記の取組を実施している。

▶ 対象事業

事業名	オール門真による「ものづくり」ブランディング事業
計画期間	令和5年度～令和7年度
総事業費	25,566,965円（交付金充当額：12,676,982円）（令和5年度実績）
概要	本市の基盤産業である多様な「製造業」の活性化、特に域外からの受注・域内受発注の連携、高付加価値型企業への転換、新たな製造業の誘致やスタートアップの促進により、域内所得及び雇用者数の増加につなげ、域内経済の好循環による経済成長、関係人口の増加を目指す。 また、企業の利益率向上により、賃金所得が増加することで、人口減少局面においても市民が幸福な生活を送り、持続可能なまちとなることを目指す。
取組詳細	① 製造業としての「門真ブランド」の発信事業 ② 「製造業で働く」魅力の向上と発信事業 ③ 「オール門真」での連携支援体制の構築事業
KPI	① 市外から門真市に対する新規マッチングによる成約金額 ② 支援を実施した事業所における従業者増加数 ③ 支援を実施した事業所におけるインターンシップ受入れ増加数 ④ 支援を実施した事業所における一般見学者の受入れ人数

デジタル田園都市国家構想交付金（令和5年度実施事業）

取組詳細

01 製造業としての「門真ブランド」の発信事業

関連するKPI

- ①市外から門真市に対する新規マッチングによる成約金額
- ②支援を実施した事業所における従業者増加数



総事業費

15,043,600円（交付金充当額：7,521,800円）

事業概要

市内中小企業の顧客となる市外の手企業等に対し「門真ブランド」を打ち込み、業界内でのプレゼンスを高めることを主眼とし、本市が製造業におけるビジネス環境が優れている事実を中心にPRする。
本市が行政間の交流を持つ「東京都大田区」や「大阪府八尾市」のように、ものづくりの街としてのブランドを域外に発信・確立することで、受注の獲得、産業の誘致など、地域経済の活性化に寄与することをめざす。

第26回機械要素技術展大阪への出展

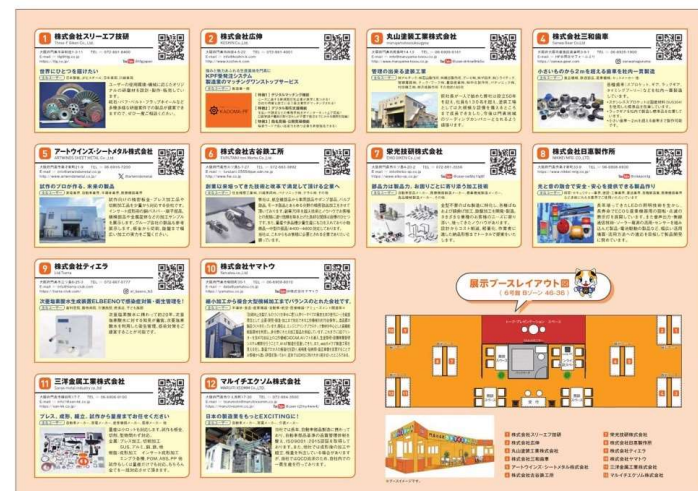
期間：令和5年10月4日(水)～6日(金)

会場：インテックス大阪

本市を代表するものづくり中小企業「カドマイスター企業(※)」12社が市内のものづくり企業の代表とし企業群として出展。優れた技術や製品等をPRし販路拡大・事業拡大へつなげた。

また、人的・時間的リソースが割けないことを理由に当日展示会場でPRできない企業向けに、オンラインにより会場と企業をつなぎ、カドマイスター企業であればどの企業でもPRが可能な仕組みで実施した。

※卓越した技術や製品等を有する市内企業を認定する制度。



令和5年度 実施内容

デジタル田園都市国家構想交付金（令和5年度実施事業）

取組詳細

02 「製造業で働く」魅力の向上と発信事業

関連するKPI

- ②支援を実施した事業所における従業者増加数
- ③支援を実施した事業所におけるインターンシップ受入れ増加数
- ④支援を実施した事業所における一般見学者の受入れ人数



総事業費

1,749,000円（交付金充当額：768,000円）

事業概要

少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少により、企業の人手不足は厳しさを増し、特に中小製造業は人材確保に苦慮している。
市内中小企業がスムーズに人材を確保し、かつ、女性、シニア、外国人、障がい者といった多様な人材が定着、活躍できるようにハード及びソフト両面において、労働環境整備への取組みに対し補助金による支援を行う。

令和5年度 実施内容

門真市「職住近接のまち」実現のための企業魅力アップ 事業補助金の実施

補助金交付実績

種別	件数	補助事業内容	補助額 (円)
労働環境整備事業	4件	女性用更衣室等の設置 食堂・休憩室等の整備 アシストツールの導入 等	1,100,000
企業の魅力向上・発信	7件	オープンファクトリーイ ベント「FactorISM2023」 への参加費 等	649,000

補助対象者

中小企業基本法に第2条第1項各号に掲げる中小企業者のうち、製造業に含まれる事業を営む会社及び個人で、下記のいずれの要件も満たす者

- (1) 本市の区域内に事業所を有する者
- (2) 市税の滞納がない者

補助対象経費・補助額

	種別	対象経費	補助率等	補助金 上限額	R5 実績	件数 補助額
1	労働環境整備事業 【一般】	休憩室及び食堂の整備、アシスト ツール等の導入、福利厚生等に要 する経費	1/2(カドマイス ター認定企業 の場合は2/3)	200,000円		3件 600,000円
2	労働環境整備事業 【多様性①】	バリアフリー化、多言語対応、女 性従業員専用設備の導入等に要す る経費	2/3(カドマイス ター認定企業 の場合は3/4)	500,000円		1件 500,000円
3	労働環境整備事業 【多様性②】 (男性の育児休業取得)	男性の育児休業取得 (所定労働日が9日以上含まれてい る14日以上の子育て休業を取得、そ の後職場復帰すること)	1人当たり 150,000円	300,000円		実績なし
4	企業の魅力向上・発信 【一般】	動画等広報媒体の作成、地域活動、 顕著なSDGsの推進、オープン ファクトリー実施に係る費用等、 「魅せる工場」実現のために要す る経費	1/2(カドマイス ター認定企業 の場合は2/3)	200,000円		7件 649,000円
5	企業の魅力向上・発信 【人材】 (インターンシップの受入)	インターンシップの受入 (1日当たり5時間以上)	1人当たり 1日につき 8,000円	160,000円		実績なし

	種別	事業内容	補助率等	補助金額
1	労働環境整備事業【一般】	女性専用更衣室と女性専用食堂兼休憩室の設置	3/4	500,000円
2	企業の魅力向上・発信【一般】	オープンファクトリーイベント「FactorISM2023」への参加	2/3	58,000円
3	企業の魅力向上・発信【一般】	工場見学用ツール（拡声器、のぼりスタンド、チェーン及びポール、トラ布テープ）の作成	2/3	271,000円
4	企業の魅力向上・発信【一般】	オープンファクトリーイベント「FactorISM2023」への参加	2/3	58,000円
5	企業の魅力向上・発信【一般】	オープンファクトリーイベント「FactorISM2023」への参加	1/2	44,000円
6	企業の魅力向上・発信【一般】	オープンファクトリーイベント「FactorISM2023」及び市イベント「カドマとタクミ」への参加	2/3	62,000円
7	企業の魅力向上・発信【一般】	オープンファクトリーイベント「FactorISM2023」への参加	2/3	58,000円
8	企業の魅力向上・発信【一般】	オープンファクトリーイベント「FactorISM2023」への参加、 「FactorISM2023」門真市参加企業周知のためのリーフレット印刷	2/3	98,000円
9	労働環境整備事業【一般】	チャイム・ラジオ体操内蔵メロディタイマーの導入	2/3	200,000円
10	労働環境整備事業【一般】	休憩室の整備	2/3	200,000円
11	労働環境整備事業【一般】	アシストスーツ導入	1/2	200,000円

デジタル田園都市国家構想交付金（令和5年度事業の成果）

K P I

①

市外から門真市に対する
新規マッチングによる成約金額

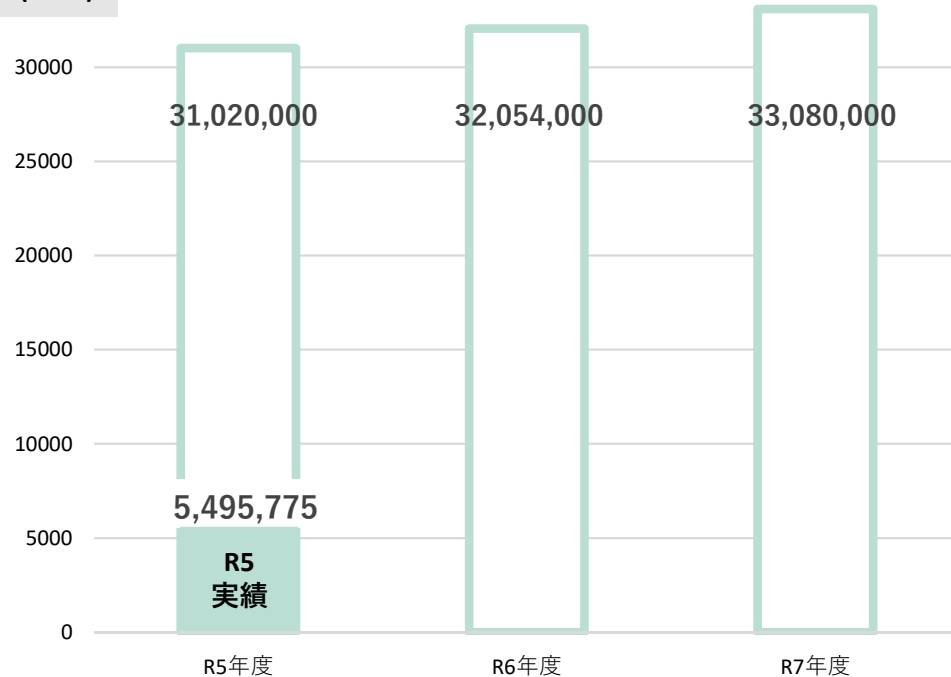
実績値（令和5年度）：5,495,775円

未達

（単位：円）

基準値 (計画開始 時点)	目標値 (R5年度)	目標値 (R6年度)	目標値 (R7年度)
0	31,020,000	32,054,000	33,080,000

（千円）



担当課検証結果

- 第26回機械要素技術展大阪（令和5年10月4日～6日）に、市内企業13社（会場出展12社、オンライン出展1社）で門真市ものづくり企業群として合同出展。
- 本市ブースへの来場者数は3日間で4,245名。各出展企業毎に活発な商談が行われた。
- ブース内では、カドマイスター企業62社を掲載したパネル掲示や、本市のもつポテンシャル（交通便利性、豊富な周辺人口、濃密な産業集積とその連携関係、層の厚い支援等）をPRし、「ものづくりのまち」としてのブランド醸成を図った。
- 令和5年度は目標値に遠い結果となった。様々な制約から、会場出展が難しい企業等向けに用意したオンライン枠の活用が乏しかったことが一因と考える。
- 令和6年度以降に向けて、オンライン出展しやすい環境整備に努め、オンライン枠の活用企業数増加を目指し、新規マッチングによる成約金額の増加につなげたい。

デジタル田園都市国家構想交付金（令和5年度事業の成果）

KPI

②

支援を実施した事業所における
従業者増加数

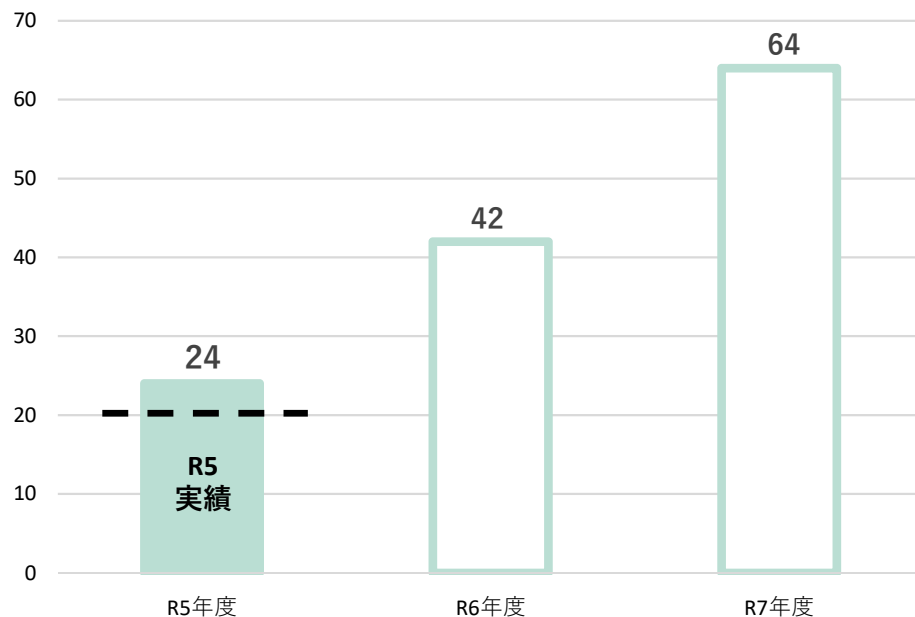
実績値（令和5年度）：24人

達成

（単位：人）

基準値 (計画開始 時点)	目標値 (R5年度)	目標値 (R6年度)	目標値 (R7年度)
0	20	42	64

（人）



担当課検証結果

- 門真市「職住近接のまち」実現のための企業魅力アップ事業補助金により、10社（11件）の支援を実施。
- 女性専用設備や、従業員の休憩室といった設備整備のほか、アシストツールの導入、外国人労働者とのコミュニケーションツールとしてラジオ体操の場内放送システムの導入等から、オープンファクトリーの実施など魅せる工場実現のための費用まで、多角的なアプローチで、企業の人材確保・定着を見据えた取組に対する支援ができた。
- 支援を実施した事業所全体での新規雇用者数は29人で、男性20人(うち外国人1人)・女性9人(うち外国人1人)であり、多様な人材の確保につながったと認識している（なお、離職者等が5名いたため、KPIの増加数は24人となっている）。
- 景気拡大により売り手市場が進むこと、また少子高齢社会の進行により、とりわけ中小企業にとって人材確保はますます厳しくなるものと見込まれるが、多様な人材の確保・職場環境の整備に積極的に取り組む事業者への支援を継続するとともに、本事業で創出したロールモデルの積極的な展開により、全体への波及をめざす。

デジタル田園都市国家構想交付金（令和5年度事業の成果）

K P I

③

支援を実施した事業所における
インターンシップ受入れ増加数

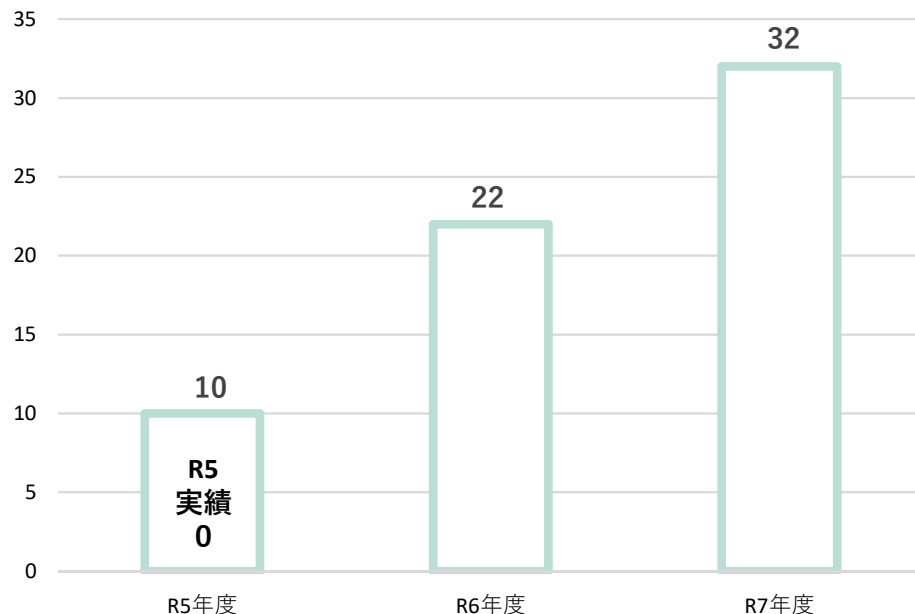
実績値（令和5年度）：0人

未達

（単位：人）

基準値 (計画開始 時点)	目標値 (R5年度)	目標値 (R6年度)	目標値 (R7年度)
0	10	22	32

(人)



担当課検証結果

- 企業ヒアリング等を通して、中小企業へのインターンシップを希望する学生の絶対数が少ないことがわかった。また、学校へのヒアリングでは、インターンシップを希望する学生は一定いるものの、大指向向、中小企業の企業情報等が把握しづらい等の理由により、インターンシップ先としての検討が難しいことが判明した。
- インターンシップの応募に際して、「大学コンソーシアム大阪」のキャリア支援プログラム経由が主流となっていることから、企業に対して同プログラムへの登録を推奨しつつ、学校との意見交換等の機会を活用し市内企業へのインターンシップ促進を図っていききたい。
- また大学生・大学院生を対象としたアンケート結果では、7割弱が「企業がSDGsに取り組んでいることを知ると、志望度が上がる」と回答。
- 上記を踏まえ、学生に選ばれる企業となるために、令和6年度から新たな取組をスタートしている。
 - 摂南大学の単位認定プログラムFAL(フィールド型アクティブ・ラーニング)に参加
 - 補助事業に脱炭素化への支援を拡充

デジタル田園都市国家構想交付金（令和5年度事業の成果）

K P I

④

支援を実施した事業所における
一般見学者の受入れ人数

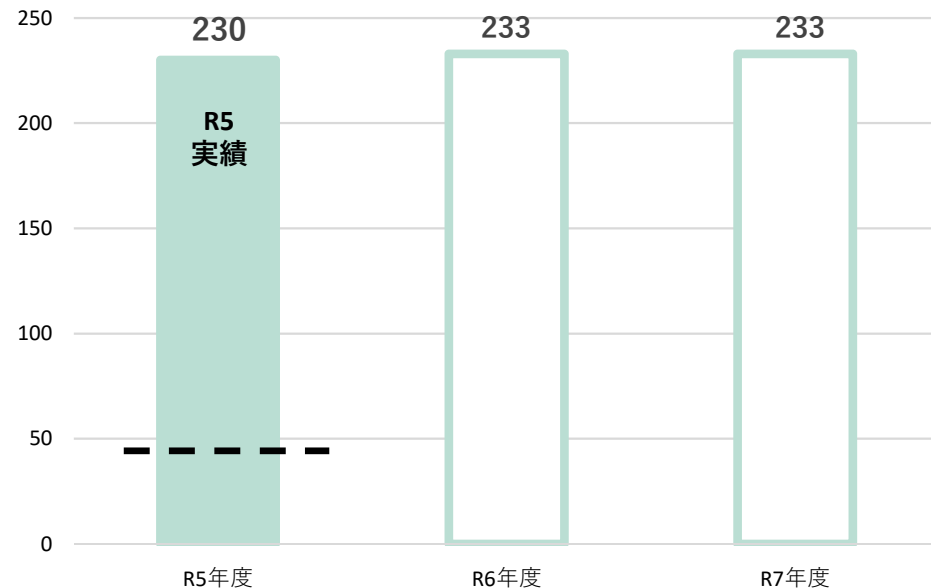
実績値（令和5年度）：230人

達成

（単位：人）

基準値 (計画開始 時点)	目標値 (R5年度)	目標値 (R6年度)	目標値 (R7年度)
0	56	233	233

（人）



担当課検証結果

- オープンファクトリーイベント「FactorISM（ファクトリズム）」（令和5年10月26日～29日）への参加企業は11社であった。
- 各企業が工場見学やワークショップを開催するなど、企業の事業内容のPRや、ものづくりの魅力を一般の方に伝えることができ、目標（56人）を大幅に上回る230人に来場していただくことができた。
- 2025年は、大阪・関西万博の開催により、国内・国外問わず多くの来阪者が見込まれることから、オープンファクトリー開催企業への見学者も増えていくと推察される。
- 市内企業とものづくりの魅力をPRし、多くの一般見学者に来場してもらうために、見に行きたくなる、働きたくなるような職場や、製品をPRする「魅せる工場」実現のために門真市「職住近接のまち」実現のための企業魅力アップ事業補助金の実施により支援を継続していく。

事業概要【オール門真による「ものづくり」ブランディング事業】

推進当初

申請者	大阪府門真市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	73,563千円（23,287千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野（詳細）	コンパクトシティ、まちの賑わいの創出、連携中枢都市等のまちづくり分野
目的（効果）	本市の基盤産業である多様な「製造業」の活性化、特に域外からの受注・域内受発注の連携、高付加価値型企業への転換、新たな製造業の誘致やスタートアップの促進により、域内所得及び雇用者数の増加につなげ、域内経済の好循環による経済成長、関係人口の増加を目指す。また、企業の利益率向上により、賃金所得が増加することで、人口減少局面においても市民が幸福な生活を送り、持続可能なまちとなることを目指す。		
事業概要・ 主な経費	①製造業としての「門真ブランド」の発信事業 ○機械要素技術展大阪への出展 ・展示会業務委託（9,747千円） ・展示会会場借上料（7,700千円） ②「製造業で働く」魅力の向上と発信事業 ○労働環境の向上の取組みに対する補助金（3,600千円） ○企業の魅力向上・発信の取組みに対する補助金（1,700千円） ○カーボンニュートラル推進に資する取組等に対する補助金（200千円） ③「オール門真」での連携支援体制の構築事業 ○門真市ものづくり産業振興懇話会委員報酬 336千円 ○開催通知等通信運搬費 4千円		
KPI	①市外から門真市に対する新規マッチングによる成約金額（+96,154千円） ②支援を実施した事業所における従業者増加数（+126人） ③支援を実施した事業所におけるインターンシップ受入れ増加数（+64人） ④支援を実施した事業所における一般見学者の受入れ人数（+522人）		関連URL https://www.city.kadoma.osaka.jp/machizukuri_rodo/kogyo/25027.html（機械要素技術展 大阪） https://www.city.kadoma.osaka.jp/machizukuri_rodo/kogyo/24357.html（企業魅力アップ事業補助金） https://www.city.kadoma.osaka.jp/shisei/keikaku/shiminbunka/25502.html（ものづくり産業振興懇話会） https://www.city.kadoma.osaka.jp/shisei/keikaku/shiminbunka/monodukurikonwakai/30463.html（ものづくり産業振興計画）

事業概要【「地域魅力Reブランディング」事業】

推進当初

申請者	大阪府門真市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	58,770千円（17,634千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野（詳細）	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・戦略的なプロモーションにより、関係人口や交流人口の増加につなげる。 ・地域の歴史や文化を活かし、本市の個性や強みを引き出して、定住人口や関係人口の増加を促進する。 ・市外でのイベントを活かし、ヒト・モノ・情報を集結させ、他都市や世界とのつながりを深め、新たな価値創造を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○「門真市ふるさと大使」の知名度や情報発信力を活かした、魅力PRや、市内小中学生を対象とした合唱指導や、公共施設等で使用するオリジナルのインフラ音源制作等 ・門真市ふるさと大使への報償費：50千円 ・門真市ふるさと大使への業務委託料：5,280千円 ・門真市ふるさと大使名刺代（印刷製本費）：2千円 ○民間企業等と連携した地域資源のパッケージ化による地域魅力の向上に向けた取組 ・イベント開催関係経費（委託料）：8,871千円 ・会計年度任用職員人件費（報酬・職員手当等）：3,431千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+250人） ②門真市公式SNSフォロワー数（+10,842人） ③門真市ふるさと大使による配信動画再生回数（+331,000回） ④門真市ふるさと納税寄附件数（+76,130件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制・効果検証） https://www.city.kadoma.osaka.jp/sos/hiki/kikakuzaisei/2/4/3/3/24476.html